

会 議 記 録 （ 概 要 ）

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	高松市総合都市交通計画推進協議会 平成 30 年度第 1 回市民啓発部会
開催日時	平成 30 年 7 月 3 日（火）14 時 00 分～15 時 00 分
開催場所	高松市役所 4 階会議室
議題	議事 （1）部会長・副部会長の選任について （2）モビリティ・マネジメント実施方針（案）について （3）啓発パンフレット作成方針（案）について （4）その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	—
出席委員	宮本会長、小川副会長、川上委員、野口委員、宮武委員、土井委員、東原委員、桑原委員（代理：松本）、松原委員、高木委員 （欠席委員 1 名）
傍聴者	なし（傍聴席：5 席を確保）
担当課及び連絡先	交通政策課 087-839-2138

審議経過及び審議結果
<p style="text-align: center;">開会</p> <p>（事務局）</p> <p>本日は、委員の半数以上が出席しているため、本推進協議会条例第 7 条第 4 項の規定において準用する第 6 条第 2 項の規定により、会議は成立する。</p> <p>1 議事</p> <p>次の議事について協議し、下記の結果となった。</p> <p>（1）部会長・副部会長の選任について</p> <p>高松市総合都市交通計画推進協議会条例第 7 条第 3 項の規定により、当該部会に属する委員の互選により次のとおり決定した。</p> <p style="text-align: center;">【市民啓発部会】 部会長 宮本委員 副部会長 小川委員</p>

(2) モビリティ・マネジメント実施方針(案)及び(3)啓発パンフレット作成方針(案)について

・・・事務局より説明(資料)

以後審議

(会 長)

資料-2の5ページにある、11月のイベント参加予定とは何か。

(事務局)

11月に中心市街地の活性化や市政の情報発信を目的としたイベントがあり、交通政策課も参加を予定している。内容については検討中だが、パネル展以外にも、出前ふれあいトークのようなことが出来ないかと考えている。

(委 員)

ターゲットを絞っての周知・啓発という考えは良いと思う。

“ぐるっと高松”公共交通を育てる会の中での、広報の在り方について意見を紹介する。

- ・ガイドブックについて、漫画形式が面白いのではないかと。
- ・公共交通で行ける、行き先を紹介するような冊子作りが良いのではないかと。
- ・地球温暖化など、環境問題を含めて意識改革を促すような内容が良いのではないかと。

“ぐるっと高松”では、学校で教材として活用してもらえないかと、交通すごろくの作成を考えていた。

パンフレットは、作成するだけではなく、周知・啓発の為に直に説明に行く機会を設けることが必要と考える。新駅を見学することも、周知のための良い方法ではないかと。

(事務局)

パンフレットの作成は、プロポーザル方式の公募で行い、提案のいい要素をピックアップしていきたい。また、公共交通が環境等、様々な分野に関わっていることを伝えていきたい。

コミュニティバスを「運行したい」という意向があるところには、「出前ふれあいトーク」を活用し、説明してきたが、これまで以上に積極的に進めていきたい。免許返納者に対しても、公共交通に合わせた行動パターンを考えてもらえるような周知・啓発をしていきたい。

(会 長)

運行事業者が行っている取組について、御意見を頂きたい。

(委 員)

琴電が販売している企画切符で、鉄道と仏生山温泉をセットにした、うちわ型の切符がある。6,000枚ほど売れており、購入者の多くが外国人である。市内のホテルに宿泊して温泉気分を味わえると、SNS等で情報が拡散されているようだ。ほとんどの方がスマートフォンを持っている時代なので、インターネットで皆さんに発信してもらえるような仕組みも良いのではないかと。

現在行っているMMについては、担当から補足説明させていただく。

【補足説明】

- ・春と秋に電車まつりを開催している。ことだんを話題にしてもらうのがテーマである。
- ・学校MMとして、幼稚園、小学校低学年を対象に「わくわく電車教室」を開催している。切符の買い方、電車内でのマナー等を説明する。年間55校、約3,000名に対して行っ

ており、申込みを断らなければならないくらい、学校からの要望がある。

(委員)

バスの乗り方教室や、交通安全教室を行っており、今年は6月に香西小学校で実施し、今後も他校で行う予定である。

以前の例でいうと、香川町シャトルバスができた時は、バス停から500m圏内の民家を回って周知した。地道に積み重ねていくことが重要であるとする。

(会長)

学校での校外学習の際、バスは利用されているか。

(委員)

貸切バスではなく路線バスも利用されており、特に幼稚園の利用が多い。

(委員)

スマートフォンからバスの経路・ダイヤなどの情報検索できることが大切である。そこで検索できるということが、周知・啓発に繋がると考える。

(事務局)

独自の検索システムだけでなく、経路検索サイトで検索できることが重要だと考えている。現在、情報部局と連携して掲載する仕組みを検討している最中である。

(委員)

学生が入れ替る新学期に、学校でIruCaカードの出張販売をすると効果的ではないか。

(委員)

附属小学校や公立高校等で出張販売を実施しているが、バスは電車と比べてユーザーが少なく、状況はあまり芳しくない。

(委員)

学校側に、日常的な利用の働きかけが出来ると良いと思う。

(会長)

コミュニティバスの要望はないか。

(委員)

「地域が高齢化しており、コミュニティバスを走らせたい」、「病院に行きたい」という要望はあるが、生活道路は、道が狭く大きなバスが通れない。ルートや走らせ方については、地域で検討しなければ続かないと思う。出前講座等の実施により、地域に浸透させることが重要である。

また、学校の授業(社会)でも、「自分の住む市」をテーマにしたものがあり、そこで「交通」を取り入れてもらえれば、波及するのではないか。

(事務局)

全ての地域から、病院や温泉等の目的地に対しバスを走らせるのは合理的ではない。パンフレットの中で乗り継ぎ行為について周知していきたい。

大きな公共交通空白地域として香南・檀紙地区があり、地域で考える交通の普及について、働きかけを検討している。

(会長)

企業MMということで、商工会議所から何かないか。

(委員)

経済活動において自動車の利用は不可欠であるが、マイカーの利用者が公共交通を利用すれば道路が空いて運送する会社は走りやすくなる。公共交通のプライオリティを考え、経済界も公共交通を支える立場にあるということを周知いただけたらと思う。

(事務局)

通勤を公共交通に転換する等、企業努力をしているところがあれば教えて欲しい。

(委員)

まちなかループバスに乘車していても違法駐車が目につくが、それが減るだけでも、バスの定時制が保たれるのではないか。

(委員)

商店街でまとまって、共同集配や配送時間を考えることはできないか。

(事務局)

配送のための荷捌きの問題は昔からあるが、うまくいっていない。中央通りなど通行量の多い幹線道路のバス優先レーンの厳格化から考えたい。

(委員)

商店街でバスの利用券を配布していたが、今はやっていないのか？ 商店街では駐車場の利用は聞かれるが、バスの利用については聞かれない。精算時に、運転手が利用券を知らないこともある。

(事務局)

まちなかループバスの乗車券を配付していた。商店街の駐車券が、まちなかループバスの乗車券としても利用できるように変更されている。

(会長)

啓発部会の委員の皆様も、自らの周辺の方に情報を提供して欲しい。

(委員)

自家用有償運送については何か動きはあるか。

(事務局)

自家用有償運送については、過疎地限定だった規制が緩和されてきている。タクシー事業者と競合するものであり、タクシー事業者がいない地域での導入や、事業者との折り合いが重要である。このような手法もあるということは、出前講座等で周知している。

(委員)

バス事業者としては競争にはなるが、小回りを利かせて病院等に接続するとなると、利用者にとってはいいのではないか。

(事務局)

利用者の激減に伴い、塩江町コミュニティバスのサイズを、バスからジャンボタクシーに切り替えようとしているが、さらに利用者が落ち込んだ際には、自家用有償運送も選択肢となりうるという話もしている。

(副部長)

自家用有償運送の制度は10年ほど前からある。地域自らがNPOを立ち上げて行うものが多く、四国の場合は地域のタクシー会社自らが行き、自治体が運行業者に委託するケースがみられる。愛媛県八幡浜市では、地域が立ち上げたNPOが車の手配や運転手の雇用など、バスの運行

をしているが、赤字は出していない。ポイントは、キーパーソンとなる、やる気のある人が複数人いて、地域を巻き込みながら考え、進めていかなければ持続しない。

(事務局)

安価にバスを走らせる仕組みとして「デマンド」はどうかと聞かれるが、配送車の常時待機やオペレーター等に経費がかかり、結果として安くはならない。

運行経費を安くしたいとなると、自家用有償運送が選択肢に入る。

(会 長)

概ね皆さんから御意見を賜ったので、事務局においては、意見を踏まえた上でパンフレットの作成等、進めていただきたい。

(4) その他について

第2回高松市総合都市推進協議会を11月開催予定である。

その時に、啓発パンフレット(案)をお示ししたいと思う。

閉会

以 上